

報道関係各位

4月8日(日)高知競馬場で実施された
重賞「第23回 二十四万石賞」競走は
- サラ系4歳以上OP・1900m(ダート・右回り) -
ストロングボス号(牡9・打越初男厩舎)が二度目のV!

平素は当組合の競馬運営につきまして格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成19年4月8日(日) 高知競馬場にて行われましたサラ系の中距離重賞、
第23回 二十四万石賞は、4番人気のストロングボス(宮川実騎手騎乗)がマイ
ペースの先行策から押し切り、一昨年以来2度目の優勝を果たしました。また2着は
1番人気のマリスブラッシュ、3着は3番人気のニッタレヴューという決着でした。
なお競走成績及び展開につきましては別紙のとおりです。

二十四万石賞ハイライト

桜が咲き誇り場内でお花見を楽しむファンも多い日曜日、年度最初の重賞・二十四万石賞がゲートインを迎えました。1番人気は黒船賞で地元最先着を果たしたマリスブラッシュ。さらに高知県知事賞を制しているサンエムウルフが2番人気に推されました。しかしレースは抜群のスタートを切った4番人気・ストロングボスの独壇場。すんなりと先手を奪ってマイペースの先行に持ち込みます。2番手にサンエムウルフ、3番手集団にマリスブラッシュが続き、3番人気のニッタレヴューが中団を追走する展開となりました。優勝した一昨年の再現ビデオのように悠然と逃げるストロングボス。最後の4コーナーで3馬身ほどのリードを奪い逃げ込みを図ります。追ってきたのは道中脚を溜めていたマリスブラッシュ。ニッタレヴューも差を詰めてきますが、結局ストロングボスが2馬身差で逃げ切り、このレース2度目のV! 9歳の古豪が4つめの重賞勝ちを収めました。

【お問い合わせ先】

高知県競馬組合業務課

TEL(088)841- 5123

FAX(088)841- 5130

<http://www.keiba.or.jp/>

二十四万石賞トピックス

コメント 打越初男調教師 (ストロングボス)

「最近はややおしまい甘いからね、最後まで心配していましたがよく頑張ってくれました。ずっと脚元に不安がある馬ですけど、ここまで活躍を続けてくれて、本当にすごい馬ですね」

コメント 宮川実騎手 (ストロングボス)

「黒船賞ではあのメンバー相手に先行できました。そこで気合が入ったのか今回も行きっぷりは良かったですよ。理想のレース展開には持ち込めましたが、直線止まってしまわないかと最後まで必死でした。僕が乗った中でも最高の馬。まだまだ活躍できるよう頑張ります」

ストロングボスは重賞 4勝目、過去に 04年・05年建依別賞、05年二十四万石賞を制している

打越初男調教師、宮川実騎手は 05年に次いで二十四万石賞 2勝目

勝ち馬 Check!!!

ストロングボスは 01年 8月に大井競馬場でデビュー。緒戦を圧勝するもすぐに脚部不安を発生し長期休養を余儀なくされました。2戦目は 1年 9ヶ月後、03年 5月に高知競馬場で迎えましたが、ここを勝つとそのまま快進撃を重ねデビューから 13連勝をマークしました。連勝が止まっても同馬の進撃は止まらず、04年 5月にオープン特別を勝ち、更に夏の短距離戦・建依別賞をも勝ってついに重賞初制覇。その後は高知競馬のサラブレッドを代表する 1頭として活躍を続けています。9歳となった今年も黒船賞に駒を進め、中央・地方の強豪を相手に先行するなど元気一杯。今回の二十四万石賞では 4番人気という評価でしたが、見事に逃げ切って重賞 4勝目をマーク。古豪健在をアピールする 1戦となりました。